# 「第4回 全島しまうた交流会 in 西表島2023」開催概要

2023年4月23日
安積美加

第4回全島しまうた交流会 in 西表島2023
と　き：2023年6月10日（土）17時 ～ 20時
ところ：西表離島振興総合センター（竹富町南風見201-47）
会　費：3,000円（見込み）

## ■ 全島しまうた交流会コンセプト ～ 島の人が島へ島の人に会いに行く

当交流会は、沖縄県内の島々に根を下ろし、島で生活を営む唄者たちの流派・会派、垣根を超えた唄者たちによる手作りの「しまうた交流会」です。集まりやすい那覇ではなく、各島に他の島の唄者をお迎えして、それぞれの島の伝統文化・伝統芸能への理解および唄者たちの親睦を深めることを目的としています。

迎える島の唄者が用意した島の食をいただき、酒を酌み交わし、各々が日頃暮らしている島に伝わるしまうたを交互に披露しあい、皆で唄い踊るという、枠にとらわれない自由なスタイルで親睦を深めています。

主体となる唄者たちは、開催第1回となる2014年に久米島で開催された「JTA美ら島物語プレゼンツ 全島しまうた交流会」の参加者たち。この交流会をきっかけに、これまで出会うことがなかった島々の唄者たちのあいだに、心温まる交流が生まれました。

2014年以降、宮古島、与那国島と持ち回りで自主的に集いながら、島々の唄者たちはいまも繋がり続けています。

## ■ 「第4回全島しまうた交流会 in 西表島」参加島（4月23日現在）

沖縄県内9島の唄者および関係者　60名

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1．西表島 | 11名 | 6．宮古島 | 24名 |
| 2．沖縄本島 | 9名 | 7．石垣島 | 3名 |
| 3．久米島 | 5名 | 8．黒島 | 1名 |
| 4．粟国島 | 4名 | 9．新城島 | 2名 |
| 5．南大東島 | 1名 | | |

■ 「全島しまうた交流会」の軌跡

第1回 2014年5月17-18日　久米島（兼城公民館・久米島町具志川農村環境改善センター）
第2回 2017年5月27日　宮古島（友利公民館）
第3回 2019年5月25日　与那国島（与那国町構造改善センター）
第4回 2023年6月10日　西表島（西表離島振興総合センター）（予定）










## ■「全島しまうた交流会」開催経緯

2001年から2018年にかけて、日本トランスオーシャン航空（JTA）が17年間運営されていた沖縄観光情報サイト『おきなわ探訪美ら島物語』。そのコンテンツのひとつに、個性豊かな沖縄県内の島々を訪れ、その島の「しまうた」を紹介する島唄連載（2011～2016年）がありました。

島唄連載の回数を重ねるに連れ、取材に応じてくださった各島の唄者たちから、「（面識はないが、島唄連載に登場した）ほかの島の唄者さんと交流したい」という声が上がり始めます。

そうした声を受けて2014年5月17日、久米島、沖縄本島、粟国島、南大東島、宮古島、伊良部島、石垣島、竹富島、黒島、西表島、新城島、与那国島、12もの島の唄者たちが久米島に集い「全島しまうた交流会」の開催が実現。

流派・会派の垣根を超えて、島々に根を下ろす唄者たちが船や飛行機を乗り継いで、久米島に集いました。

2日間に渡る交流会は、1日目は兼城公民館にて唄者たちと関係者によって「全島しまうた交流会」を開催。

2日目は、「せっかく12島もの唄者が集まったので、久米島の方にもそれぞれのしまうたを聴いていただこう」と一般に向けて、久米島町具志川農村環境改善センターにて有料のしまうたイベントを開催。4時間に及ぶ大イベントに約500名の観客が足を運び、大盛況を博しました。

初めての試みのとなる交流会は大成功を収め、2014年の久米島以降、唄者たちが自主的に持ち回りでそれぞれの島に集い、「全島しまうた交流会」は現在も継続しています。




12島の唄者が集った2014年久米島の「全島しまうた交流会」2日目